

留学生別科通信



新しい年が明けました。今年の干支は戊戌。戊は「草木が繁盛して盛大になること」、戌は「草木が枯死すること」を意味します。反する意味の2つが合わさった戊戌は大きな変化がある年とされており、新しいことを始めるには良い年と言われています。新しいことに挑戦し、大きな変化・成長を手にする年になるといいですね。

それでは、今年度最後の別科通信をお楽しみください。



優花祭！スピーチコンテスト(10月21日)

大学の文化祭「優花祭」で日本語、英語のスピーチコンテストが行われ、日本語部門の1位と3位に見事別科生が入賞しました。引き続き頑張ってください。おめでとうございます！



1位：尹 曉雪さん（中央右）
3位：SERT BUSRA さん（中央左）

鹿野ツアー(10月20日～21日)

3年目となる国際教養学部久保ゼミによる鳥取県鹿野町での「鹿野ツアー」に学部別科合わせて14名の留学生が参加しました。2日間にわたり、果樹園育成、法師が滝へのフットパス、盆踊り、芝桜植えなど様々な鹿野町の自然体験と人々とのあたたかな交流を通じて、学生たちは鹿野町が大好きになりました。

ツアー終了後、少子高齢化や耕作放棄地の増加に悩む鹿野町にどうしたら観光客が増え、元気な町になるか考えて、学生たちはそれぞれの意見をまとめました。鹿野町の魅力が多くの人に伝わり、町が再び賑やかになるために、今後も鹿野町の人々とOIUの地域連携プロジェクトは続いていきます。



参加学生感想(抜粋)：「鹿野町は人の心を静めるような町だ。自然風景は本当に美しい。」「滝の迫力を感じて、心が洗われた。」「日本の温泉は本当に気持ちがいいです。入ったとたん、悩みとか全部飛んでしまったような気がしました。」「こんな美しい町にもっとたくさんの人に住ませたいし、是非力になりたいと思います。」

高校との交流会：茨田高校(11月11日)、寝屋川高校(11月13日～17日)

別科生たちは地域の国際化に貢献しています。11月には高校生との異文化理解交流会がありました。茨田高校では、英語や日本語を使ったゲームで身体も動かしながら1日楽しく交流を行いました。また、寝屋川高校では今年初となる1週間に渡り連続した交流活動が行われ、高校の部活体験からトルコ料理作りなど幅広い交流が行われました。この交流がきっかけとなり高校生たちが改めて日本を客観的に見たり、海外に興味を持ってくれると嬉しく思います。



クリスマスたこ焼きパーティー(12月12日)

初の別科生企画、クリスマスたこ焼きパーティーは学部別科合わせて36名の学生が参加する大規模なイベントになりました。買い出しから会場の飾りつけ、パーティーの進行、後片付けまで中心メンバーが頑張りました！

たこバ企画
メンバー



何が入っているかわからないロシアなたこ焼きではわさびやしょうがで涙目になる学生が続出！チョコレートたこ焼きは意外と美味しかったようです。心行くまで食べて笑って大満足のパーティーでした。

International Island ～タイ～(12月12日)

タイ出身の別科生2名が「日本ではタイといえば象のイメージですが、タイ人は日頃象には乗っていません!(笑)」と様々なタイを紹介しました。



とんど焼き体験@南山城村(1月8日)

今年も日本の伝統的な小正月行事とんど焼きに別科生たちが招待されました。正月飾りや書初めなどを集めて燃やして、その残り火で細い竹に刺したお餅を焼きました。恒例の餅つき体験で別科生たちは大はしゃぎ。熱々のつきたてお餅を丸めてその場でいただきました。日本の伝統行事を体験した貴重な1日となりました。



和菓子手作り体験(1月16日)

大学近くの和菓子屋の絹笠さんが大学で和菓子手作り講座を開催！学部・別科の留学生15名は和菓子の中でも最高級とされる上生菓子作りに挑戦しました。まずは職人さんが季節をテーマにしたお菓子を作ってくれました。鶯、梅、桃、水鳥…と職人さんの手の中から次々に芸術品のように美しい上生菓子が生み出されていき、学生たちは食い入るように見ていました。今回学生たちが挑戦したのはバラと梅の2種類です。簡単そうに見えましたが、実際に作ってみると難しく、悪戦苦闘しながらもオリジナルの和菓子が完成！可愛くて食べるのがもったいなく、持ち帰る学生もたくさんいました。最後にお茶を自分でたてて入れました。甘い和菓子とほろ苦い抹茶の愛称は抜群！和菓子作りを通して日本人の美の心を感じられたでしょうか。



☆別科生が紹介します☆日本・大阪・OIUのここがスバラシイ☆

今回別科生が紹介するのは別科の伝統文化の授業と情緒ある街並みの倉敷、そしてこのコーナー2度目の登場となる世界的にも大人気の観光地、伏見稲荷大社です😊

国で知っている日本のことを日本に留学してから自ら体験できるのは本当によかったと思います。例えば日本の伝統楽器(箏 尺八 三味線)を実際手に学ぶことです。新奇なのはこれらの楽譜が五線譜と全然違うことで、それに箏、尺八と三味線の楽譜も別々なのです。先生から演奏方法を教えてもらって、楽譜を読めるようになります。箏と三味線で桜という曲が最後まで弾けるのはとても嬉しかったです。先生たちも授業の度に、古典音楽と現代曲を伝統楽器で演奏してくれて、日本の音楽の魅力が感じさせられます。音楽が好きなら、ぜひその授業に参加してみてくださいね～。



金 家琪さん
中国



また、倉敷美観地区も皆さんに勧めたいのです。倉敷美観地区の街並みは古き情緒を色濃く受け継いでいます。白壁の屋敷、町の建築様式に息づく江戸時代の風情、川沿いの柳並木、時々着物を着ている人など、歩くなり船に乗るなり、どちらでも倉敷美観地区の魅力が感じられます。川沿いにはいろいろなデリケートな店があります。お土産を買うことができます。日本での生活を楽しくいい思い出を作ってくださいね。

次はトルコのビュシュラさん、お願いします！

今回皆さんに紹介いただきたいところは、今年の初詣に行きました伏見稲荷大社です。京都市伏見区深草にある神社、また稲荷神社と呼ばれたことがあります。稲荷大社は日本各地稲荷神社の総本宮ですから、毎年約250万の人が初詣のために大社へ行きます。そして、大社の人々は偉大なる大神のために造られていた本殿もお勧めの一点です。神社は初詣ためのイベントだけではなく、また還幸祭、神幸祭などの祭が行っています。日本にいる間に、ぜひ一度行ってみなさい。

カンボジアのピンピンさん、次回お願いします！



李 杰さん
中国

～卒業生からの便り～ (第5通目)

今回は、初めての現役別科生と卒業生との交流会、そして日本で初めての別科同窓会の報告をします。



卒業後、成長しました(笑)

12月16日(土) 卒業生との交流会、別科同窓会

☺ 現役別科生・卒業生の交流会

日本で働きたいという夢を持つ現役の別科生らが集まり、日本で就職中の先輩に現在取り組んでおくべきことや、仕事の内容など様々な質問をして、充実した交流を行いました。

☺ 別科同窓会

現役生との交流会後、大学で行われた第一部には10名の卒業生と教職員6名が集まり、再会を喜ぶと共に、近況報告を行いました。また、卒業生企画で12月生まれサプライズ誕生日パーティーを開催！そして、第二部には13名の卒業生と教職員8名の合計21名が集まりました。遠くは東京、名古屋からの参加者もあり、昔話に花を咲かせました。たくましく成長した卒業生の姿に別科での日本語教育の意義を再確認した1日となりました。



再会!(嬉涙)



別科同窓会開催は、卒業生との繋がりを大切にしたいという思いで今年度から始めた新たな試みです。今年度は7月に台湾、12月に日本で同窓会をすることができました。参加した卒業生からは毎年しようとの嬉しい声もありました。来年度は別科創立25周年なので記念イベントを開催したいと考えています。今後もお楽しみに(∩o∩)

留学生別科通信に関するご意見・ご感想は、大阪国際大学国際交流センターまでお知らせ下さい。

Email: kokusai@oiu.jp / Tel: 06-6907-4306 / Facebook:

